

2014年10月8日

ユニアデックス クラウドサービスの連携を強化、新たな4つのサービスを提供開始 - クラウドの連携と可視化により、お客さまのICT環境を最適化 -

ユニアデックス株式会社(社長:入部 泰、本社:東京都江東区、以下 ユニアデックス)は、お客さまのICT環境を最適化するためにクラウドサービスの連携を強化し、新たな4つのサービスを2014年10月15日から順次提供開始します。

日本ユニシスグループでは、2008年から企業向けのエンタープライズクラウドとして、クラウドサービス「U-Cloud®」を提供しています。ユニアデックスはその当初より「U-Cloud」の設計・構築、運用・保守およびクラウドサービスの提供を担ってきました。

このたびユニアデックスは、これまでの経験とノウハウを生かし、自社クラウドである「U-Cloud」にとどまらず、複数のクラウド環境との連携を可能にするクラウドフェデレーションのコンセプトのもと、4つのサービスを皮切りに、今後も提供サービスを拡大していきます。また、クラウドサービスの提供プロセスを連携させ、IT資産の棚卸からはじまるICT環境アセスメントから、そのクラウド環境を実現するためのシステム設計・構築、クラウド環境を支える運用・保守までを一貫して提供していきます。

なお、ユニアデックスが考えるクラウドフェデレーションとは、「オンプレミス環境」と「クラウド環境」や、「複数のクラウド環境」において「クラウドがつながる・クラウドがみえる」ことです。クラウドがつながるためには、ネットワーク、データ、アプリケーション、ユーザー(ID)などの柔軟な連携が必要で、つながったクラウド環境の運用やコントロール、そして稼働監視は一元的にできることが必要と考えます。

今後もユニアデックスは、クラウド関連の新サービスを続々と提供し、これらのクラウドサービスを活用したお客さまのさらなるICT環境最適化の実現を目指していきます。



お客さまのICT環境最適化を実現

ユニアデックスの考えるクラウドフェデレーション

ICT環境最適化を実現するためには、「オンプレミス環境」と「クラウド環境」、また「複数のクラウド環境」が、【つながること】【見えること】が重要です。ネットワーク、データ、アプリケーション、IDなどが【つながる】ことで一つのシステムとして構築され、さらに、つながったICT環境が一つ【見える】ことで、システムの運用や監視を安全かつ効率的に実現します。

クラウドが つながる	クラウドが みえる
<p>オンプレミス環境や複数のクラウド環境がつながることで、一つのシステム環境となります。それを実現するためには、ネットワーク、データ、システム、ユーザーなどを最適に連携させる必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の環境をセキュア/効率的、そして透過的に接続するネットワークを提供します。 データの分散配置とそれらを一元的に扱うデータ管理を提供します。 アプリケーションやサーバーが連携して稼働するために、管理・制御する機能を提供します。 利用ユーザーの認証や権限付与など、連携を可能にする機能を提供します。 	<p>複数環境によって構築されたシステムを負荷なく効率的に運用するためには、一元的にコントロールできる仕組みと、その環境を統合的に運用/管理できる仕組みが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数環境からシステムリソースを調達、配置して、透過的にシステムをコントロールできる機能を提供します。 複数の環境で連携して稼働しているシステムやアプリケーションの状況(システムの稼働状況、リソース利用量、ネットワークトラフィックなど)を、透過的に把握できる機能を提供します。

新たな4つのサービス内容は、以下のとおりです。

1. ICT 環境アセスメントサービス (2014年10月15日開始)

ICT 環境を最適化するには、現在の ICT 環境を俯瞰的かつ的確にとらえた分析をし、システム利用の特徴に合せて、「オンプレミス環境」か「クラウド環境」かを選択することが必要になります。

本サービスは、現在のお客さまの ICT 環境の棚卸、現状の分析、評価 (As-Is) をすることから、あるべき姿の策定 (To-Be) を実施します。さらに、そのあるべき姿に向かっての実現モデルを策定します。ICT 環境を最適化するには、まずはこのアセスメントサービスがその一歩目となります。

2. ダイレクトコネクションサービス (2014年11月予定)

安心して社内システムの延長としてクラウドを活用したい。そのようなニーズに対応するため、本サービスは「企業内ネットワーク」と「複数クラウド環境」を閉域網でつなぎあわせた一つのセキュアなネットワーク環境を実現します。また、利用したいクラウドが増えること、個々にクラウドへの接続環境を準備する必要がなく、簡単に複数クラウドとの接続を実現します。

回線は、IP-VPN (L3) の 1Gbps 共有型で、お客さま拠点から閉域網までは、NTT「フレッツ光ネクスト®」の利用により全国各地からの接続ができ、「U-Cloud IaaS」からの接続も可能です。

なお、2014年11月のサービス開始時には、アマゾン ウェブ サービス™ (以下 AWS™) との接続を可能にし、順次、複数のクラウド環境との接続を提供していきます。

3. まとめてバックアップ for クラウド (2014年11月予定)

ビッグデータ時代の到来に伴い、近年企業内で扱うデータ量は爆発的な増大を続けており、保護・管理対象となる情報も増大の一途をたどっています。このような爆発的なデータ量を管理する仕組みの構築は簡単ではありません。また、現状オンプレミス型で導入されることが多いバックアップの仕組みは、高額な初期投資が必要となります。

ユニアデックスの「まとめてバックアップ for クラウド」は、「安価に、手軽に、スモールスタートで、確実な」をコンセプトとした利用型バックアップサービスです。バックアップ先は複数のクラウド環境に対応していて、要件に従って複数のクラウド環境から選択できます。本サービスは、「オンプレミス環境」や「クラウド環境」にある重要なデータを「クラウド環境」へのバックアップに統合し、簡単かつ安価な利用型でサービス提供します。

4. ユニアデックスクラウドサービス for AWS (2014年10月15日から順次開始)

ユニアデックスは、Amazon Web Service, Inc. が提供するクラウド基盤サービス「AWS」の最適利用を支援する設計・構築から運用・保守までのトータルサービスを順次提供開始します。これまで日本ユニシスグループでは、2012年6月に「AWS」の利用をワンストップで支援する「uSelfCloud®」を提供、2014年4月に発行された「エンタープライズAWS導入ガイド」の共同執筆に参加、2014年9月には「Amazon Simple Storage Service™ (Amazon S3™)」に対応した「クラウドバックアップ最適化ソリューション」の提供を進めてきました。

ユニアデックスは、「U-Cloud IaaS」の設計・構築、運用・保守で培った経験とノウハウを最大限に活用し、お客さまの AWS 環境の最適化を支援します。すでに、本サービス提供に向け AWS システムの構築・運用スキルの知識を有する AWS 認定技術者の育成を進めており、2014年度に100名の認定資格の取得を計画、2016年度末までに日本ユニシスグループとして300件のAWSシステム構築を目指します。

なお、ユニアデックスは2014年10月から、パートナーレベルを格上げし「APN アドバンスドコンサルティングパートナー」^(注)として、さらなる AWS ビジネスの拡大に向けてまい進していきます。

【エンドースメント】

「ユニアデックスクラウドサービス for AWS」の発表に当たり、以下のコメントをいただいています。

アマゾン データ サービス ジャパン株式会社
パートナーアライアンス本部長
今野 芳弘氏

アマゾン データ サービス ジャパンは、ユニアデックス社が AWS の最適利用を支援するトータルサービス「ユニアデックスクラウドサービス for AWS」の提供開始を歓迎します。ユニアデックス社は AWS 認定技術者を多く育成するなど、AWS システムの構築・運用スキルの知識を有する「APN アドバンスドコンサルティングパートナー」です。AWS が提供する40種類以上のサービスを利用して、AWS システムの設計・構築から運用・保守まで支援していただくことで、多くのお客様のビジネス成長に貢献できることを期待しています。

以上

注：APN アドバンスドコンサルティングパートナー

AWS に関する営業・技術体制があり、AWS でのシステムインテグレーションやアプリケーション開発などの実績が非常に豊富なパートナーのことで。

<http://aws.amazon.com/jp/solutions/solution-providers-japan/advanced-consulting/>

関連リンク：「ユニアデックスのクラウドサービス」<http://www.uniadex.co.jp/service/cloud/>

U-Cloud、uSelfCloud は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

フレッツ光ネクストは、NTT 東日本およびNTT 西日本の登録商標です。

Amazon Web Services、AWS、Amazon Simple Storage Service、Amazon S3 は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

その他、記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。